

垂水風土記

垂水の歴史と伝説を訪ねて
 古代民俗研究所
 代表 大森 亮尚 氏



垂水の歴史

『日本書紀』孝徳天皇 大化二年(六四六) 「改新の詔」
 凡そ畿内は、東は名鑿の横河より以来、南は紀伊の兄山より以来、西は赤石の柳瀬より
 以来、北は近江の狭狭波の台城山より以来を、畿内国とす。

明治十二年(1889) 神戸市成立し明石郡垂水村
 昭和三年(1928) 垂水村↓垂水町へ
 昭和十六年(1941) 明石郡垂水町↓神戸市須磨区垂水町へ
 昭和二十一年(1946) 須磨区垂水町↓神戸市垂水区へ

- 海神社の神様とは？ 住吉神社との関係・五色塚古墳との関係
- 御堂町という地名
- 平磯灯台の歴史
- 在原行平の歴史と伝説
- 浦島伝説
- 佐藤桐信の歴史と伝説
- 太山寺付近の刈萱伝説
- 神出町の鎌岡山と鎌岡山伝説
- 願宗・仁賢天皇伝説

垂水風土記 | 垂水の歴史と伝説をたずねて |

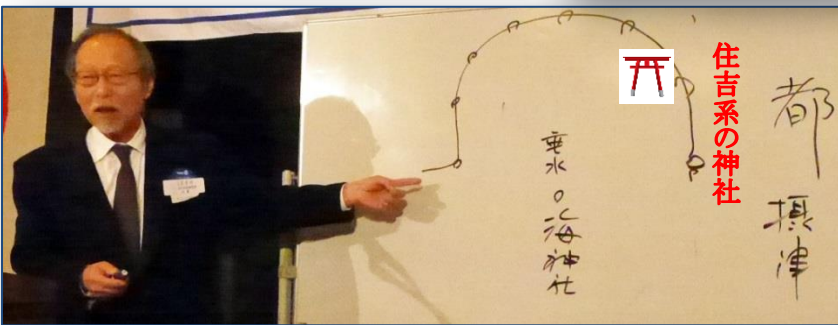


明石 柿本人麻呂

① ともし火の 明石大門に 入らむ日や 漕ぎ別れなむ
 『萬葉集』卷三―二五四

家のあたり見す
 ② 天離る 鄙の長道ゆ 恋ひ来れば 明石の門より
 『萬葉集』卷三―二五五

③ ほのぼのと 明石の浦の 朝霧に 島隠れゆく 船をしぞ思ふ
 『古今和歌集』卷九



ポールハリスフェロー (6回目)
 永田 哲也 会員



ゲストスピーカーを紹介
 由良 博 会員